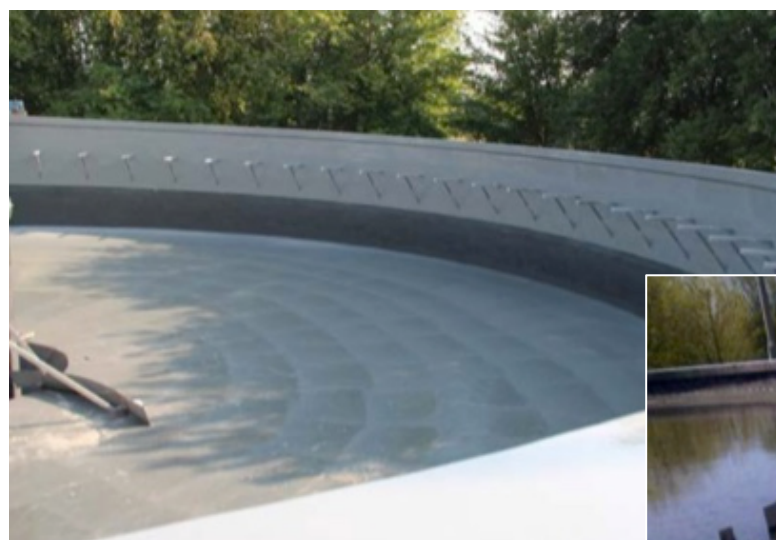


》 二次浄化施設 – 化学的耐性要求に応える防水ソリューション



概要

ブジェシナは人口は約 30,000 人のポーランド中部の町です。廃水処理場は 1997 年の検査の結果、化学薬品の影響で保護膜に深刻な損傷が見られたため、改修工事が必要となりました。

二次浄水施設は、高湿度によるコンクリート補強材の腐食が進み、最終的には嫌気性バクテリアなどの硫化水素 (H₂S) にさらされます。

保護膜の損傷は、非常に厳しい化学環境に関連していますが、底に沈降した物質が機械的に駆動するスクレーパーによってホッパーに送られる際に摩擦や摩耗によっても損傷します。フル稼働中の工場であるため、施設管理者は可能な限り最短のダウンタイムと、新しく設置された保護膜の最長の耐久性を求めています。

ソリューション

解決策として超速硬化型ポリウレタ塗膜、マスターシール M689 を提案しました。塗膜層は接着性を確保し、コンクリートの気孔を密閉するために使用されるマスタートップ P617 プライマーを塗布した後、適切に処理され洗浄されたコンクリート表面に塗布されました。

マスターシール M689 は、適切な2液加熱高圧プロポーショニング吹付け装置を用いて塗布されました。工事は現場での技術的な要件をすべて解決できる専門会社によって行われました。

システム概要

マスターシール M689 総面積 2500m²、総使用量 5250kg

お客様へのメリット

- 硬化後、マスターシール M 689 は継ぎ目やジョイントのない連続した膜を形成します。
- 長期的な耐薬品性、特に酸に対する耐性に優れており、非常に高いひび割れ追従性を有しているため、下地のクラックや摩擦による保護膜の損傷を防止します。
- 機械的、耐摩耗性、耐衝撃性に優れているため、塗膜の損傷を防ぎ、長期的な耐久性を確保します。
- 工事期間を短縮できるためダウンタイムを減らし、塗膜工事から 24 時間で操業復帰を可能にしました。

場所: ポーランド ブジェシナ

製品: マスターシール M 689